

2006 年度

科目名 文化財学課題研究（分析科学の研究）	対象学科・学年 研究科文財(前)1 回生 研究科文財(後)1 回生	担当者 三辻 利一
授業テーマ 蛍光 X 線分析法の原理とその測定法、土器の考古科学研究の方法を理解させることを目的としている。		
授業の概要と目標 須恵器産地推定法の開発とその応用研究（Ⅰ） 須恵器の産地推定法を概説するとともに、研究論文を使って須恵器の産地問題を学ぶ。		
評価方法 レポートと出席状況で採点		
テキスト	著者	出版社
参考書 参考文献として論文を渡す	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1) 須恵器の産地問題 2) 日本の土器の系譜 3) 蛍光 X 線分析 4) 放射化分析 5) 窯跡出土須恵器の分析 6) 窯跡出土須恵器にみられる地域差 7) 窯間の相互識別（2 群間判別分析の話） 8) 初期須恵器の産地推定法 9) 陶邑産須恵器の伝播と大和政権 10) 陶邑産須恵器と陶質土器 11) 論文購読		